あなたは私に、大変なことを尋ねた。そしてそれは、アッラーによってたやすくされた者にとって、たやすいものである

ムアーズ・ブン・ジャバル（アッラーのご満悦あれ）は言った： 私は預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）と共に旅にあったが、ある日、彼に近いところを歩いていた。私は言った：「アッラーの使徒よ、私を天国に入れ、地獄から遠ざける行いについて教えてください。」彼は言った:「あなたは私に、大変なことを尋ねた。そしてそれは、アッラーによってたやすくされた者にとって、たやすいものである。アッラーを崇拝し、かれに何も並べるな。礼拝を遵守せよ。浄財を支払え。ラマダーンを断食せよ。館へとハッジせよ。」それから言った:「あなたに善の扉を教えてやろうか？断食は盾。施しは水が火を消すように罪を消す。真夜中の礼拝。」そして「彼らの脇腹は彼らの寝床から離れる…」から「…知らない」まで読誦した。それから言った:「すべての物事の要、その柱、その瘤の頂について教えてやろうか？」私は言った:「ええ、アッラーの預言者よ。」彼は言った:「物事の要はイスラーム、その柱は礼拝、その瘤の頂はジハードである。」それから言った:「それらすべてを掌握するりものを教えてやろうか？」私は言った:「ええ、アッラーの使徒よ。」彼は舌をつかんで言った:「これを慎むのだ。」それで私は言った: 「アッラーの預言者よ、私たちは自分が語ることでお咎めを受けるのですか？」彼は言った:「ムアーズよ、あなたの母親があなたに先立たれるよう。人々が顔から、
または鼻先から真っ逆さまに地獄にひっくり返されるのは、自分の舌で稼いだものゆえに他ならないのではないか？」 [صحيح بمجموع طرقه] [رواه الترمذي وابن ماجه وأحمد]

ムアーズ（アッラーのご満悦あれ）は言った：私は預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）と共に旅にあったが、ある日歩んでいる時、彼の近くになった。それで私は言った：「アッラーの使徒よ、私を天国に入れ、地獄から遠ざける行いについて教えてください。」 彼は言った:「あなたは私に、その実行が人にとって大変なことを尋ねた。そしてそれは、アッラーによってたやすくされた者にとって、たやすいものである。イスラームの義務を遂行せよ： １．アッラーだけを崇拝し、かれに何も並べるな。 ２．一日５回の義務の礼拝を遵守せよ。つまり、ファジュル、ズフル、アスル、マグリブ、イシャーのことであり、それらを礼拝の条件、根幹、義務を守りつつ行うのだ。 ３．義務の浄財を支払え。それはイスラーム法で定められた一定量に達したあらゆる財産に課せられ、その受給資格者へと与えられる、財産による義務の崇拝行為である。 ４．ラマダー ンを断食せよ。それは崇拝行為を意図しつつ、ファジュルから日没まで、飲食などを断つことである。 ５．アッラーを崇拝し、その宗教儀礼を果たすことを目的として、マッカのカァバ神館を目指してハッジせよ。 それから預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った:「あなたに、善の扉へと到達させてくれる方法を教えてやろうか？それは義務行為を行いつつ、任意の行為で補うことである」： １．任意の断食。それは罪に陥ることの予防であり、欲望を弱め、力を抑える。 ２．任意の施し。それは犯してしまった罪を消し、その跡もろとも抹消してしまう。 ３．夜の最後の３分の１の礼拝。それから預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は読誦した：「（懲罰）を怖れ、（褒美を）望みつつ、その主に祈りながら…」つまり、礼拝、ズィクル（念唱）、クルアーン読誦、祈願をしながら。「…彼らの脇腹は寝床から遠ざかる。そして彼らは、われらが授けたものから（施しのために）費やすのだ。また、いかなる者も、彼ら（信仰者たち）が行っていた（善い）ことゆえの報いとして、彼らのために秘蔵された喜びを知らない。」つまり、審判の日、そして天国において、彼らの目を喜ばせる物事を知らない。 それから預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「宗教の基盤、そこにおいて依拠する柱、その瘤の頂について教えてやろうか？」 ムアーズ（アッラーのご満悦あれ）は言った：「ええ、アッラーの預言者よ。」 預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った:「物事の要はイスラーム、つまりそれによって人間の宗教の基礎となるところの、二つの信仰証言である。 その柱は礼拝である。礼拝のないイスラー ムはない。それはちょうど、柱なしには家が成り立たないようなものである。礼拝を守る者の宗教は堅固になり、高きに至る。また、その瘤の頂と高みはジハードである。それはアッラーの言葉を高く掲げるために、敵と戦うことにおいて尽力することである。 それから預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った:「今述べた物事を完全なものとし、極めるものを教えてやろうか？」そう言うと、彼（アッラーからの祝福と平安あれ）は舌をつかんで言った:「これを慎み、余計なことを話さないようにせよ。」ムアーズは言った:「私たちの主は、私たちが語ることゆえに私たちをお咎めになったり、それを悪行と数えて私たちを罰されたりするのですか？」 預言者（アッラーからの祝福と平安あれ）は言った：「ムアーズよ、あなたの母親があなたに先立たれるよう。」なお、これはムアーズに災いを祈っているわけではなく、知っておくべきことに注意を向ける際に用いられる、アラブ人の言い回しである。彼は言った：「人々が顔から真っ逆さまに地獄にひっくり返され、転落させられるのは、不信仰、名誉毀損、罵詈雑言、陰口、悪い噂を広めること、嘘といった、自分の舌で稼いだものゆえに他ならないのではないか？」

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/4303